

PARAGUAY

日本人移住者によるビジネス成功事例から見る
パラグアイのビジネス環境





パラグアイ経済概要



1 パラグアイの概況

- 面積 : 40万6,752km² (日本の約1.1倍)
- 人口*1 : 約705万人
- 主要産業 : 農業 (大豆), 牧畜業 (牛肉), 林業
GDP 構成比 (農業8%, 牧畜業2%, 林業1%
工業34%
商業11%, その他サービス36%)

2 主要経済指数

- GDP : 351億5,703万米ドル
- 一人あたりGNI : 5,470米ドル (2017年 世銀)
- 経済成長率 : **過去5年間の平均経済成長率は4.3%**
- 物価上昇率 : 3.2%
- 為替レート : 2004年以降, 対ドル・グアラニー相場は概ね安定
- 失業率*1 : 5.3%

3 貿易統計

- 総貿易額 輸出 : 90.4億米ドル 輸入 : 124.3億米ドル
- 主要貿易品目 輸出 : 大豆 (種子, 油, 粉), 電力, 牛肉 (**大豆40%, 電力23%, 牛肉13%**)
輸入 : 機械, 原油・燃料, 自動車
- 主要貿易相手国
輸入 : 中国, ブラジル, アルゼンチン, 米国, 日本
輸出 : ブラジル, アルゼンチン, ロシア, チリ.....日本

【対日貿易】

- 対日貿易総額*2 輸出 : 65.7億円 輸入 : 96.2億円
- 主要対日貿易品目*2 輸出 : 大豆油かす (飼料用), ゴマ (**大豆油かす72%, ゴマ24%**)
輸入 : 電気機器, 新車自動車, 中古自動車 (**電気機器23%, 新車16%, 中古車10%**)



日本とパラグアイの二国間関係



外交樹立100周年



直接投資

- ・ 製造業（自動車部品）
- ・ 商社
- ・ 造船

経済開発協力

- ・ 円借款（1959年～）
- ・ 無償資金協力（1977年～）
- ・ 技術協力（1979年～）

優れた日系社会の存在

- ・ パラグアイの発展に貢献（特に農業分野）
- ・ 経済分野（商業・金融等）における日系人の活躍

1936

1959

1981

2019



1. 優れた日系社会の存在



●商業・金融・保険・法曹・医療等の経済分野における日系人の活躍

- ①自動車販売
- ②損保・銀行
- ③養鶏・牧畜
- ④食品・加工販売
- ⑤小売・流通





1. 優れた日系社会の存在

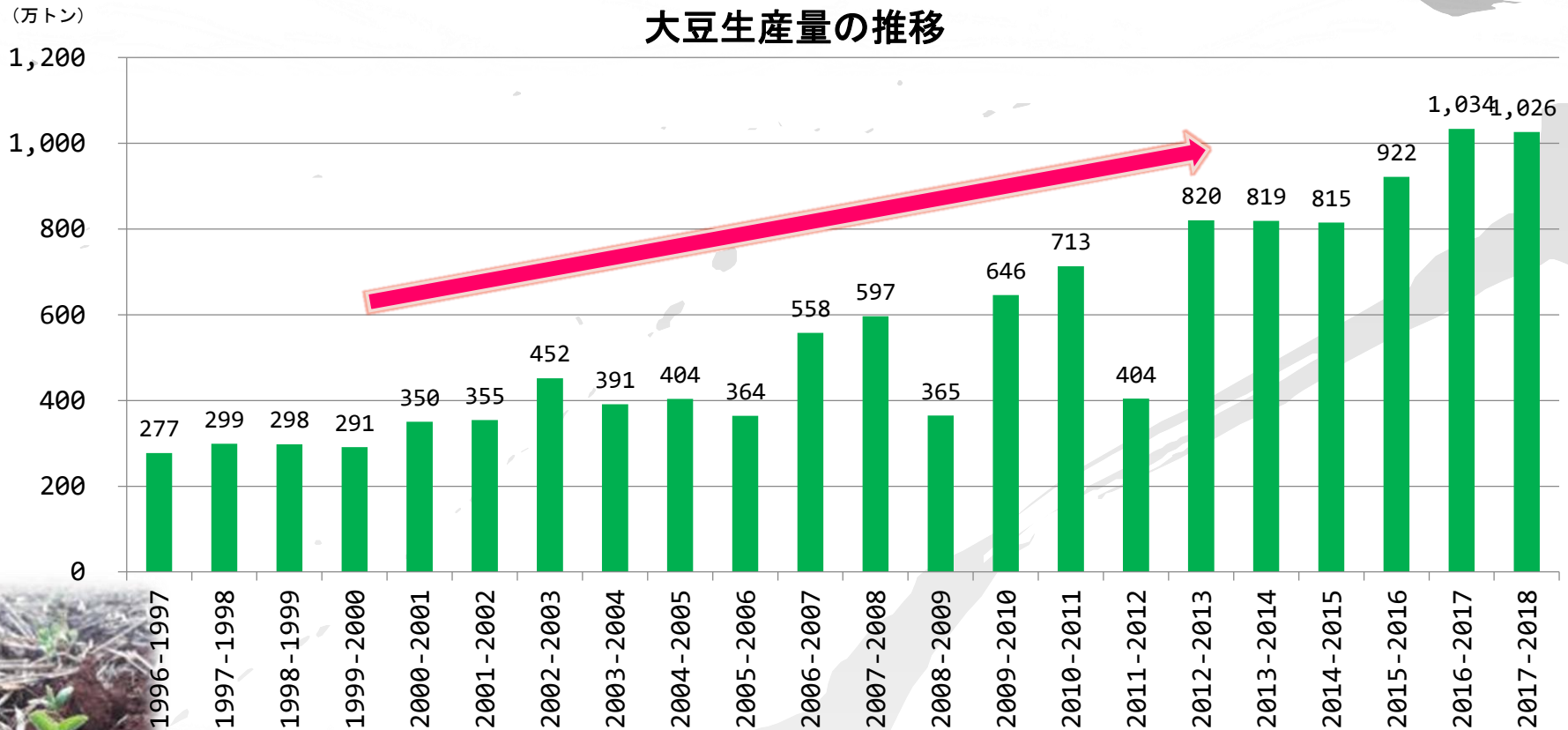


- 農業全般（大豆，小麦，果樹の普及）
- 移住者の勤勉さと農業開発における貢献は、パラグアイ国民に高く評価





1. 優れた日系社会の存在



出所：パラグアイ穀物・油糧作物輸出協会（CAPECO）

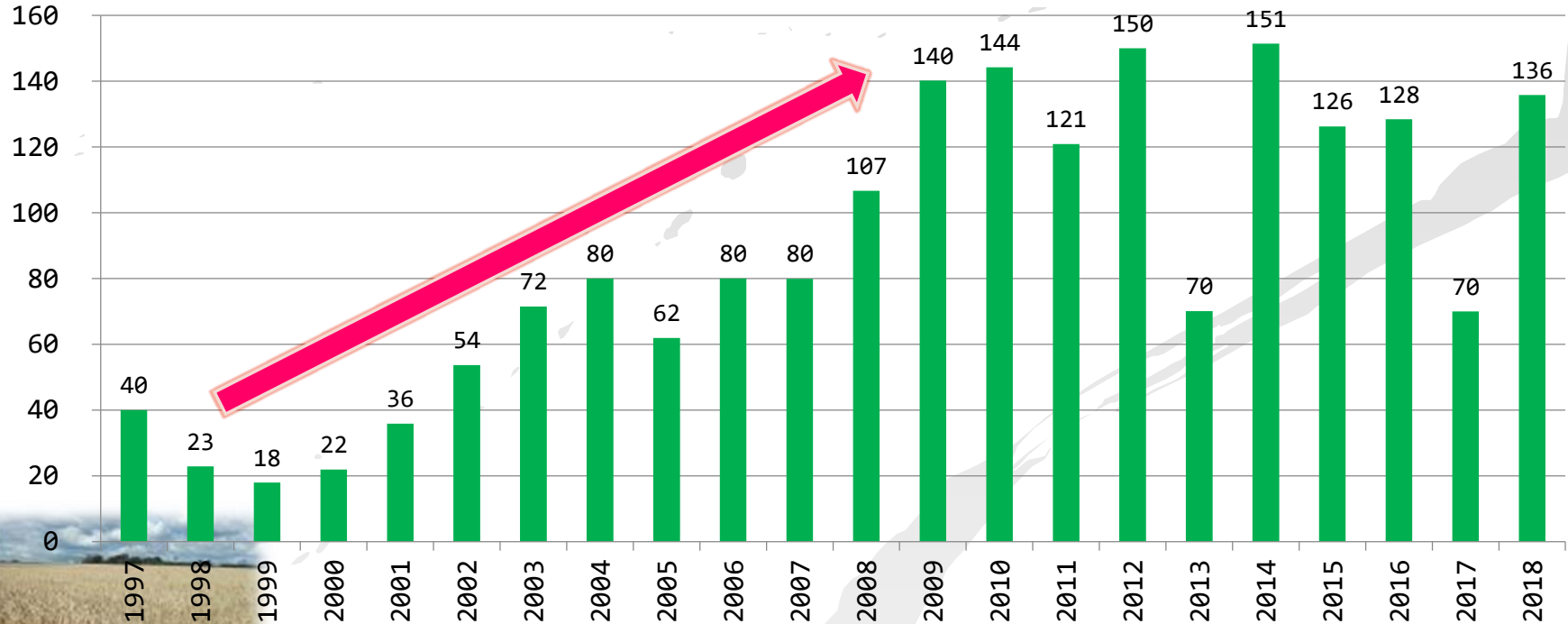


1. 優れた日系社会の存在



(万トン)

小麦生産量の推移



出所：パラグアイ穀物・油糧作物輸出協会（CAPECO）



1. 優れた日系社会の存在



自動車販売：Grupo TOYOTOSHI



5月2日、創立50周年記念式典にて



2019年5月6日付け 5Dias (出典元)



1. 優れた日系社会の存在



● **豊歳グループ**成功の理由 創業時5名, 今や総勢700名に成長

1. 50名に1名しか自動車を所有しなかった時代に創業。
急速に車が普及し, 所有者が急増した。
2. トヨタ車の性能が良く, 日本製品への信頼があった。
3. お客様との約束は必ず守るよう徹底した。日本人は, 嘘をつかないという信頼があり, その信頼を裏切らないようにしている。
(新車納車, 修理後の納車期限は残業をして対応, 納期厳守。)
4. 社員教育に力を入れて, 定期的に優秀な職員を日本に派遣し研修受講を促進, 能力向上に努力。

2019年6月1日
ABC紙新聞広告

50 años
construyendo
confianza.

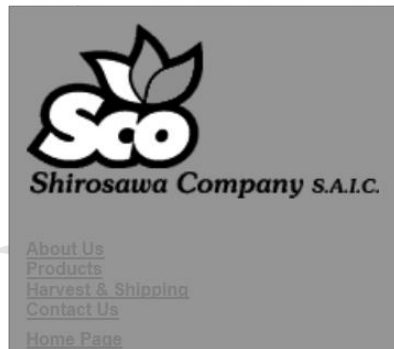




1. 優れた日系社会の存在



食品・加工販売：Shirosawa.S.A.



- 1976年、チャコ地域にて栽培した落花生を使用し、菓子の輸出を開始。その後、日本への輸出が開始され、年間3,000トンまで輸出。
- 1993年、ゴマを主に日本市場へ輸出開始。ゴマ栽培のパラグアイのパイオニアとして認知されている。
- ゴマの栽培は資源の限られた小規模農家にも広がっており、現在ゴマはパラグアイで最大の収益性の高い作物。社会貢献の観点から、ゴマの栽培はパラグアイにとって不可欠な存在。
- 国内外の販売ネットワークを拡大するスナックの製造にも取り組んでおり、製品はパラグアイ、チリ、ウルグアイの合計15万店舗に販売されている。



1. 優れた日系社会の存在



●白沢グループ

様々な作物の栽培に取り組み、輸出産業へと成長させるなど
パラグアイの農業振興に貢献

小農にゴマの生産を推奨し、輸出産業へ
パラグアイではじめて落花生の生産を始め、輸出産業へ

成功の理由

1. 粘り強く取り組み、成功するまで諦めない。
2. 期限までの返済、口約束でもその通り実行することなど信用を大事にする。
(銀行からの融資は担保なしの最優遇金利)
3. 社員教育に力を入れ、社長自ら講師として研修実施。能力向上に努力。



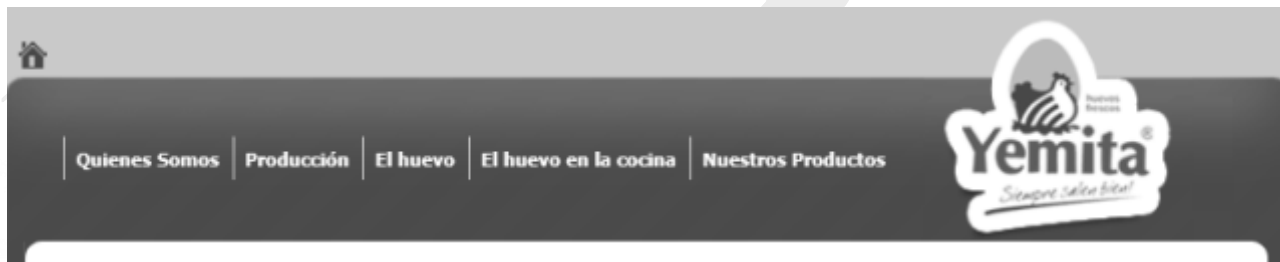
1. 優れた日系社会の存在



養鶏：YEMITA - Maehara S.A.A.C.I



前原グループが製造・販売する鶏卵





1. 優れた日系社会の存在



●前原グループ

養鶏：1987年創業，パラグアイでトップシェアを誇る一流ブランド，現在、1日あたり約100万個の卵を生産。スーパーマーケットでの国内販売シェア7割を占める。徹底した衛生管理を実施。

牧畜：2013年創業，チャコ地方（ボケロン県）に4万ヘクタール以上の牧草地を所有，現在4万頭を超える牛を放牧している。
その他，約2,500ヘクタールの農業地（ソルガム、大豆、トウモロコシ）を管理。

グループ全体で1,000人以上の従業員を直接雇用。



御影城（みかげじょう）（通称：前原城）



チャコ地方に広がる広大な牧草地（同社HPより）

<http://www.itakaavo.com.py/>



1. 優れた日系社会の存在



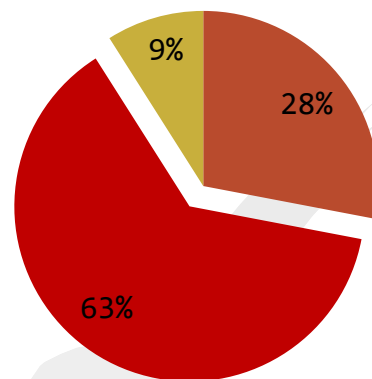
電化製品小売業： Casa NISSEY

年商5億ドル，主な対象顧客はブラジル



売上比率

■パラグアイ ■ブラジル ■アルゼンチン他





1. 優れた日系社会の存在



●CASA Nissei

1985年、グスタボ・三浦社長がエステ市に創業。
グループ全体で275人の従業員を3カ国から直接雇用。平均年齢28歳。

- ・インフラ設備投資
- ・従業員教育
- ・徹底したお客様満足向上への取り組み

従業員の国籍



店舗インフラの様子



従業員教育の様子





1. 優れた日系社会の存在



保険・損保： LA RULAR S.A. de Seguros



2019年6月4日 La Nacion紙



2. 質の高い経済協力の蓄積



- 1959年から医療・職業訓練・農業技術開発など様々な分野で質の高い経済協力を実施。写真はパラグアイ・日本・人造りセンター（1988年）



同施設は、オペラ劇場・会議場・体育館を備えた総合的市民公会堂



2. 質の高い経済協力の蓄積



- 質の高い経済協力の蓄積が、日本政府・日本人・日本企業の印象を良くし、パラグアイへの企業進出を円滑にしている。



2. 質の高い経済協力の蓄積



1 日本の援助実績（2016年度までの累計）

- (1) 有償資金協力 1,561.57億円 ※印、越に次いで世界で三番目に供与
- (2) 無償資金協力 362.12億円
- (3) 技術協力実績 880.01億円 ※研修員受入: 4,295人 専門家派遣: 1,951人

2 主要援助国（2015年DAC諸国二国間援助）

- (1) 日本（18.78百万ドル）
- (2) 米国（17.01百万ドル）
- (3) 韓国（11.54百万ドル）



2. 質の高い経済協力の蓄積



青年海外協力隊員 県毎の派遣分布実績：1,716人（2018年度までの累計）

*Distribución de
Voluntarios enviados
por Departamentos*

TOTAL ACUMULADO 1719
(1978 - 2018)

	Asunción	403
I	Concepción	40
II	San Pedro	51
III	Cordillera	88
IV	Guairá	35
V	Paraguari	113
VI	Caaguazú	119
VII	Caazapá	59
VIII	Itapúa	342
IX	Misiones	38
X	Alto Paraná	149
XI	Central	141
XII	Ñeembucú	37
XIII	Amambay	57
XIV	Canideyú	9
XV	Pdte. Hayes	24
XVI	Boquerón	14
XVII	Alto Paraguay	0

* Total acumulado a la fecha 01/10/2018





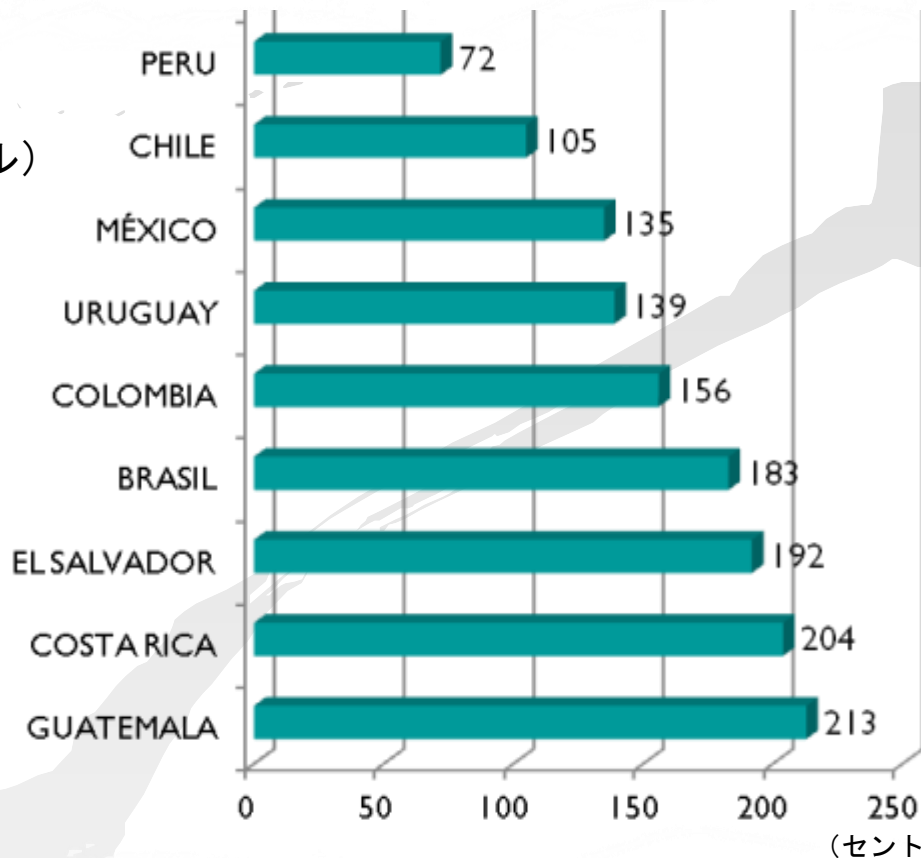
3. パラグアイにおける投資優位性



安価で豊富な電力（電力コスト）

●産業用電力（50MWh／月）の単価（米ドル）

- パラグアイは**1,390MWの使用可能電力**を有する。
- 家庭用電力及び産業用電力ともに**南米で最も安価**である。



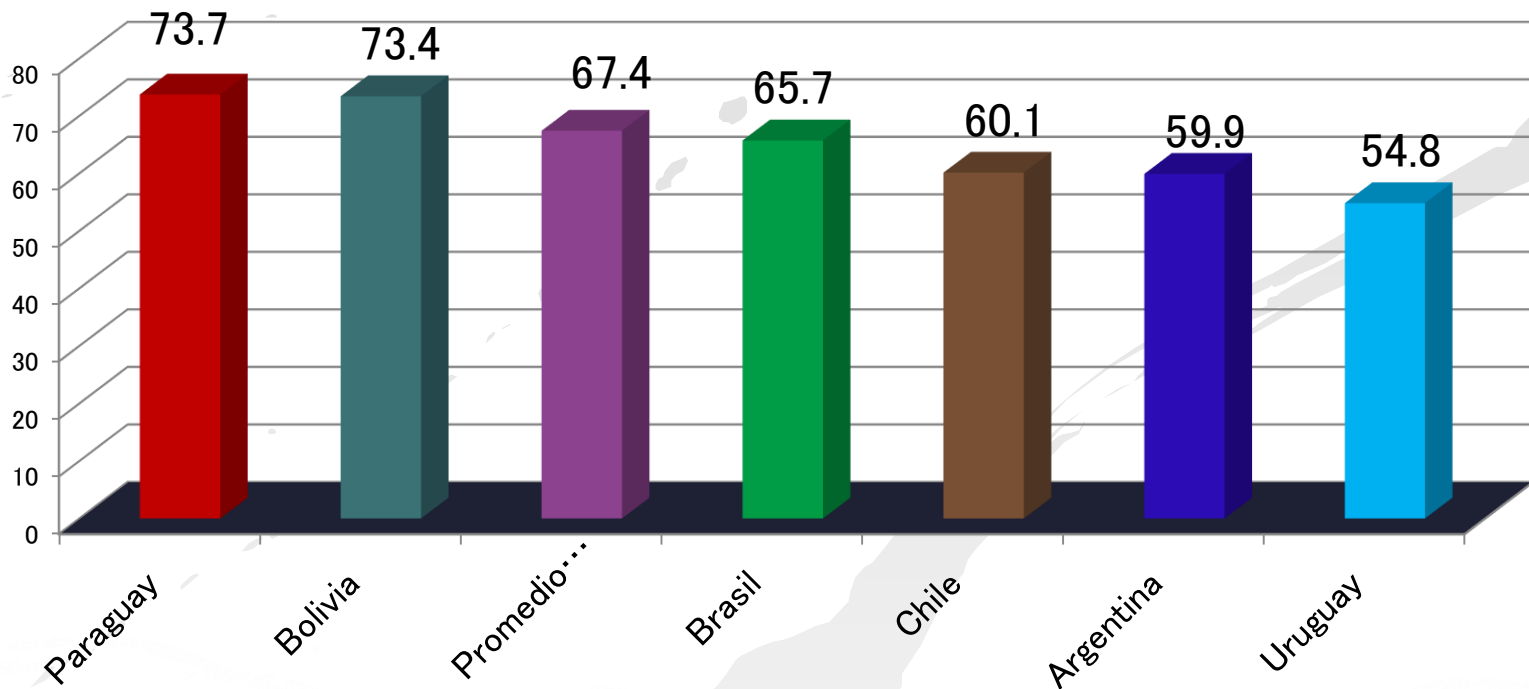
出典：商工省のHP資料を基に作成



3. パラグアイにおける投資優位性



- 豊富な若年層人口，34歳未満の若年層人口（％）
- パラグアイはラ米で最も多い若年層人口を有している。



出典：商工省のHP資料を基に作成



3. パラグアイにおける投資優位性



インセンティブ(租税・税制優遇策：法律第60号/90号)

租税	パラグアイ	アルゼンチン	ウルグアイ	ブラジル
法人所得税(*)	≤10%	35%	25%	34%
個人所得税	10%	35%	25%	27,5%
付加価値税	≤10%	21%	23%	25%

(*)注: 海外にて配分される場合は, 27.5%を上回る可能性有

資本財輸入関税 (機械及び機器)

0%

国内外から取得した資本財
(付加価値税)

0%

負債: 資本金, 金利及びコミッションの送金及び支払いに係る税
(US\$ 5 百万以上の投資に対して)

0%

収益: 配当金の支払い及び利益の海外送金に係る税
(US\$ 5百万以上の投資に対して/10年)

0%

出典: 財務省のHP資料を基に作成



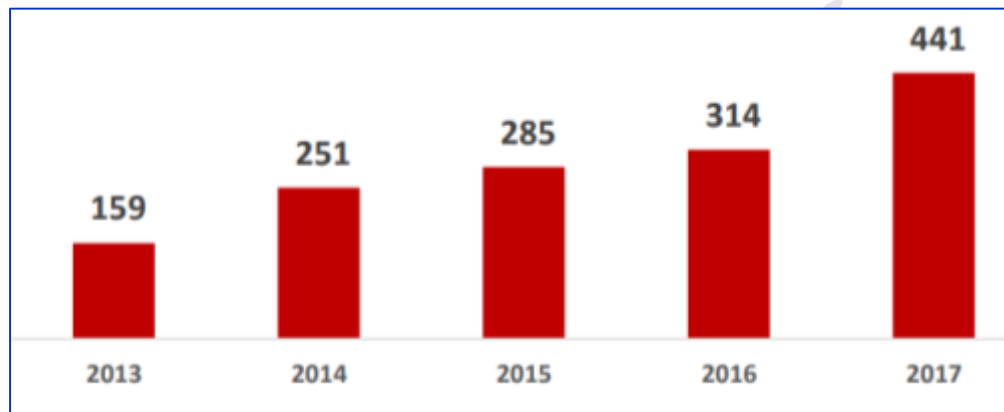
3. パラグアイにおける投資優位性



マキラ制度

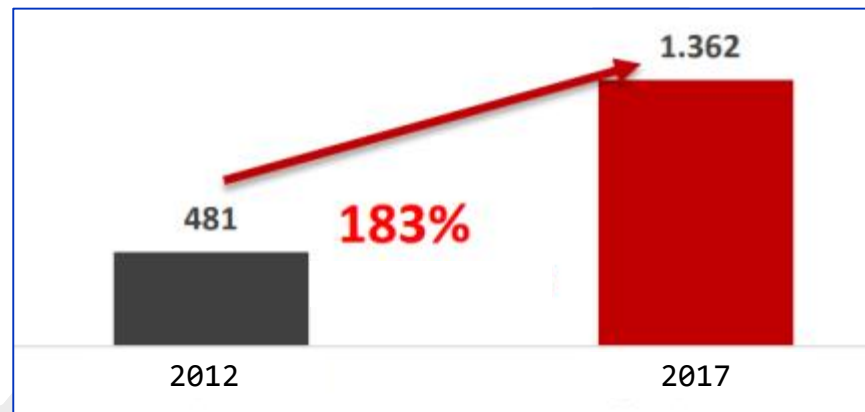
●マキラ制度を利用した輸出量が近年急増

直近5年の輸出額



(百万米ドル)

累積輸出額



(百万米ドル)

出典：商工省輸出貿易促進局



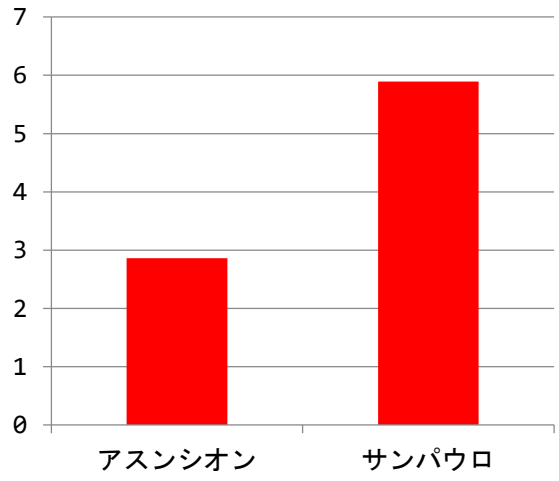
3. パラグアイにおける投資優位性



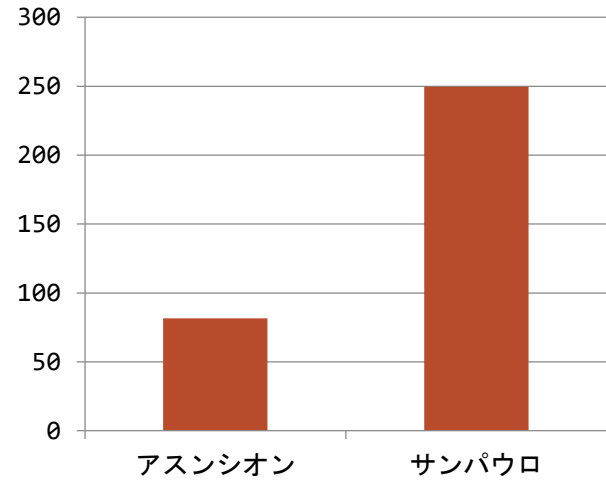
脅威が比較的少ない
⇒体感治安が良い！
(安心感がある)

周辺国と比較した治安の良さ

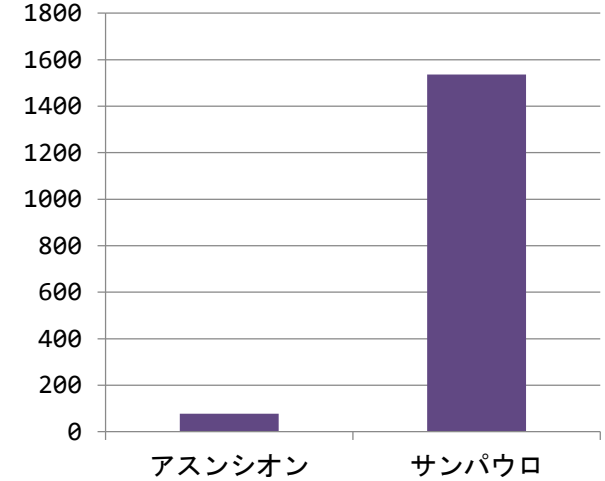
殺人



傷害



強盗

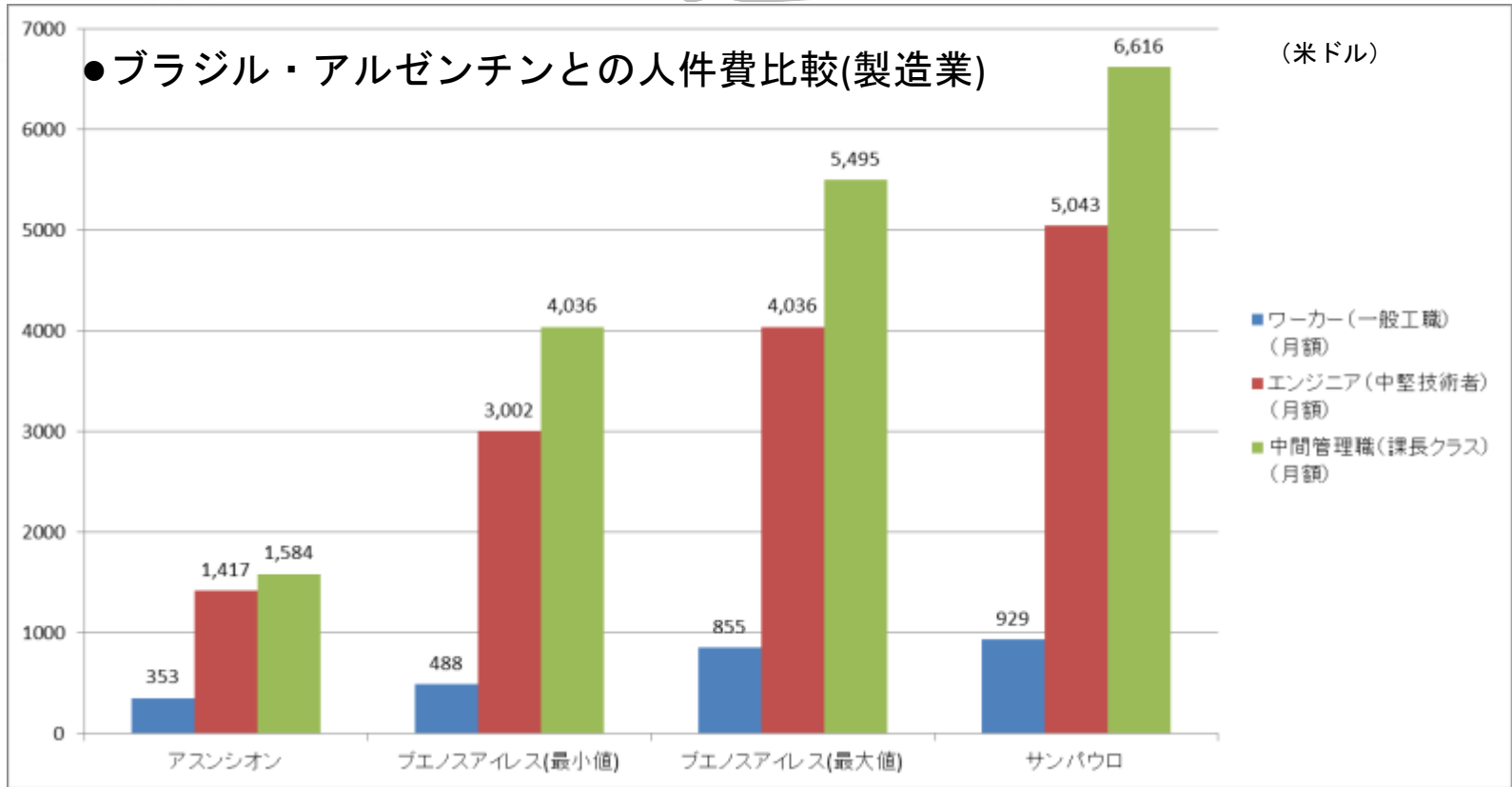


(2017年)
(10万人あたりの件数)

在サンパウロ日本国総領事館及びパラグアイ内務省のデータに基づき作成



3. パラグアイにおける投資優位性



出典：JETRO HP 投資コスト比較

■各国出所，対象期間

パラグアイ：中央銀行(BCP)，投資輸出促進機関(REDIEX)，2018年12月～2019年2月

ブエノスアイレス：アルゼンチン冶金産業界の賃金協定，大・中企業へのインタビュー，2018年12月～2019年1月

サンパウロ：Catho（民間人材会社），2018年11月～2019年1月



チャコ地方のポテンシャル



- ・面積：全国土の61%
- ・人口：全人口の1.6%
- ・大洋間横断道路
第一工区が本年2月に着工開始
(フィラデルフィア市ーカルメロ・ペラルタ市)





日本パラグアイ外交関係樹立100周年



2019年11月17日、二国間の外交樹立100周年を迎えるにあたり、両国において、年間を通じ、各団体による記念事業が開催・予定されている。

- 3月31日 辻外務政務官のパラグアイ来訪
日パラグアイ外交関係樹立100周年記念キックオフ・レセプション
カスティグリオニ外務大臣による挨拶



- 5月3日 東京お台場
日パラグアイ外交関係樹立100周年記念コンサート
(100台のアルパによる演奏)



在日パラグアイ大使館Facebookより



安倍総理大臣のパラグアイ訪問



2018年12月2日、安倍首相は、日本の総理大臣として初めてパラグアイを訪問し、アブド・ベニテス大統領と二国間会談を行った。

安倍首相は、大統領及びパラグアイ国民の温かい歓迎に感謝するとともに、近年、両国の貿易・投資関係が増大しており、更に弾みをつけるべく、両国首脳は二国間投資協定交渉の早期妥結を目指すことで一致したと述べた。



ヤザキ・パラグアイへのベニテス大統領の訪問

2019年4月30日、アブド・ベニテス大統領は、リス・クラメル商工大臣とともに、パラグアイへの進出日本企業の1社であるヤザキ・パラグアイ社（自動車用ワイヤーハーネス製造業）を初めて視察した。



- 2014年4月開所
- 1,650名雇用（8割女性）
- 2,000万ドルの投資

●マルティン・ヤザキ・パラグアイ社工場長は、アブド・ベニテス大統領が、工場内の各工程を視察したと述べた上で、大統領の訪問は、この業界がパラグアイの今後の発展にとってどれだけ重要であることを示す証であり、我々にとって非常に重大な支持となると述べた。

2019年5月1日付け ABC紙, Agencia IP紙より